

平成24年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

健康政策課（内線：7861）

8目 健康県づくり推進費

（単位：千円）

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 | 財 源 内 訳 | | | | 備考 |
|--|---|-----|-------|---------|----|-----|-------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| （新）ウォーキング立県とっとり事業～日常生活ウォーキングの普及～ | 4,845 | 0 | 4,845 | | | | 4,845 | |
| トータルコスト | 7,259千円（前年度0千円）〔正職員：0.3人〕 | | | | | | | |
| 主な業務内容 | 記念大会の開催、ウォーキングマップの作成、関係機関との連絡調整 | | | | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | 一日の歩数を成人男性8000歩以上、成人女性7000歩以上を平成26年度までに達成 | | | | | | | |
| 事業内容の説明 | | | | | | | | |
| <p>1 事業の目的・概要 健康づくりの重要な取組である「日常的な運動習慣」を定着させていくため、平成23年度事業で構築する「ケータイで健康づくりウォーキング」のシステムを効果的に活用し、更なるウォーキングの普及と日常的な運動習慣の定着を図る。</p> <p>2 主な事業内容 (1) ウォーキング大会実施による利活用 ・「えるぞのケータイで健康づくりウォーキング記念大会」の開催 687千円 「ケータイで健康づくりウォーキングシステム」（以下「システム」という。）の運用開始（H24.3～）を広く周知するため、県民が実際にシステムに登録されたコースを歩きながらシステム利用の体験ができる記念ウォーキング大会を開催。（とっとり健康づくり大使の佐々木えるごさんも参加、PR予定。） ①時期：平成24年4月下旬 ②実施規模：参加人数200人程度 ③実施方法：「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業」実行委員会へ委託 ・SUN-IN未来ウォークにおけるタイアップイベントの実施 システムをより多くの県民に利用してもらうため、きっかけづくりの場となるよう、県内で最も大きなウォーキング大会「SUN-IN未来ウォーク」を実際にシステムを利用しながら歩いてもらえる大会として実施する。</p> (2) システムの広報 3,790千円 ・システムに登録されたコースのうち、各市町村を代表するコースを「とっとり19の道」として、パンフにまとめ、各種ウォーキング大会会場等で、参加者に配布。 ・システムの利用方法が簡単に分かる利用説明チラシを作成し、システム利用体験ができるウォーキング大会等で配布する。 (3) システム運営委託 368千円 システムの効果的な利用促進を図っていくため、県内ウォーキング関係者で組織する「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業」実行委員会に運営を委託する。 主なメンバー：特定非営利活動法人未来、鳥取県ウォーキング協会、ウォーキングクラブ未来、鳥取県医師会、鳥取県保険者協議会、鳥取市、北栄町、日吉津村、鳥取県（教育委員会スポーツ健康教育課、健康政策課） 委託内容：インセンティブ（バッジ等）の作成、発送、利用方法の問い合わせ対応等 <p>3 これまでの取組状況、改善点 平成22年度から19市町村すべてでウォーキング大会が開催されるようになったが、日常的にウォーキングに取り組んでもらうことが最も重要であり、次のとおり取組を実施。 平成22年度：韓国原州市等のユビキタスウォーキングの推進方法を視察・検討。 平成23年度：鳥取県独自の「ケータイで健康づくりウォーキングシステム」を開発。 平成24年度：「ケータイで健康づくりウォーキングシステム」を効果的に活用し、更なるウォーキングの普及と日常的な運動習慣の定着を図る。</p> | | | | | | | | |